

## 教職員向け「指導の手引き」



令和7年度おおさか環境デジタルメディア学生コンテスト 優秀賞

この手引きは、「考えよう！わたしたちの暮らしと環境・エネルギー」を使用する際に、環境学習につながる資料や、大阪での状況・対策を学習する資料として参考となる情報を整理したものです。

# プラスチックごみ問題(p.2)

## ①プラスチックごみによる環境問題

### ねらい

- 世界的に大きな問題となっているプラスチックごみ問題について知り、プラスチックごみを減らすための身近な行動につなげる。

### 留意点

- 写真を見せて説明することで、プラスチックごみによって、海の生き物に影響を与えたり、景観を損なうなど、悪影響を与えていることを伝える。
- 海洋ごみ(漂流・漂着・海底ごみ)は、生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下、景観への悪影響、船舶航行の障害、漁業への影響等、様々な問題を引き起こしていることを伝える。

### 「マイクロプラスチック」ってなに？

- 近年、マイクロプラスチック(5mm以下になったプラスチック)という微細なプラスチックごみが、沿岸及び海洋の生態系に影響を及ぼす可能性がある「海洋の環境問題」として、世界的な課題となっていることを伝える。

#### ① プラスチックごみによる環境問題

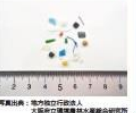
プラスチック製品は、安くて使いやすいことから急速に普及して、わたしたちの生活を便利にしてくれています。その一方で、近年、適正に処理されずに捨てられたプラスチックが、海や川へ流れこみ、環境を汚染していることが世界的に大きな問題となっています。一度海へ流れ出したプラスチックごみは、自然界ではなかなか分解されず、多くが数百年にわたり残り続けてしまうといわれています。さらに、マイクロプラスチックになると、海中の有害物質を吸着しやすくなり、それをえさと間違えて食べてしまうことで、生物に影響をおよぼすおそれもあるのです。



#### 「マイクロプラスチック」ってなに？

海や川に捨てられたプラスチックごみが、太陽の熱や紫外線などはたきで割れて、ただで5mmより小さくなったものを、「マイクロプラスチック」といいます。洗濯機からの排水にも、合成繊維のポリエステルなど、マイクロプラスチックのもととなる物質がふまれています。海や川の生き物はそれをえたと間違えて食べてしまうことがあります。さらに、食用にしている小魚の内臓をとおして、わたしたちの体内に入ってくるおそれもあります。

#### 小さくしたプラスチックごみ



#### ② プラスチックごみはどこから？

海のプラスチックごみは、直接海に捨てられたごみだけでなく、道路や街中などにポイ捨てされたごみが、雨や風で流されて、川から海へ運ばれて発生します。海のプラスチックごみの多くが、陸域由来と考えられています。大阪湾では、プラスチックごみが漂流ごみの全体の約8割を占めており、そのうち食品包装材やレジ袋、ペットボトルなどの生活に身近なプラスチックが、約3割を占めています。



## ②プラスチックごみはどこから？

### 留意点

- 街中でポイ捨てされたプラスチックごみが、川から海へ運ばれて、海のプラスチックごみとなっていることを伝える。
- また、大阪湾では、プラスチックごみが漂流するごみの約8割を占めており、食品包装材やレジ袋、ペットボトルなどの生活に身近なプラスチックが約3割を占めていることを伝える。

# プラスチックごみ問題(p.3)

## ③プラスチックごみを減らすために

### 留意点

#### 世界の動き・大阪府の取り組み

- G20サミットで主要テーマとして取り上げられるなど、近年、海洋プラスチックごみが世界的な問題となっていることを伝える。
- 海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が世界各国で共有されたことを伝える。
- 2019年1月の「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」以来、大阪府は企業や団体などと連携し、マイボトルの利用促進によるプラスチックごみの削減や海洋プラスチックごみの回収、漂着ごみの調査など、様々な取り組みを進めていて、2024年4月からは、街・川・海にごみのないきれいな大阪をめざす「OSAKAごみゼロプロジェクト」に取り組んでいることも知ってもらう。

<参考ホームページ>

◆おおさかプラスチックごみゼロ宣言

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/kaivoplastic/index.html>

◆「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画について

[https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/kannou\\_sdgs/blue-ocean-plan.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/kannou_sdgs/blue-ocean-plan.html)

◆OSAKAごみゼロプロジェクト

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120070/osakagomizeroproject.html>

#### 恩智川でのごみ調査の結果

- 令和3年度に恩智川において、ごみ組成調査を実施した結果、回収したごみの約7割がレジ袋やペットボトルなど日々の生活から出るプラスチックごみであった。
- 日頃から使い捨てプラスチック製品をなるべく使わないよう心掛けることが、海洋プラスチックごみ問題の解決につながることに気付くようにする。

<ごみ調査に関する報告・お問合わせ先>

環境管理室 環境保全課 環境計画グループ

電話:06-6210-9577 E-mail:[kankyokanri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:kankyokanri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp)

**③ プラスチックごみを減らすために**

このような状況を踏まえ、世界中でプラスチックごみ問題に対する取り組みが行われています。みなさんも、プラスチックごみ問題について調べたり、学んだりして、一人ひとりでできることは何か、考えてみましょう。

**世界の動き・大阪府の取り組み**

2019年6月に開催されたG20大阪サミットでは、海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにするをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。大阪府では、2019年1月に大阪府と共同で「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、海洋プラスチックごみの回収や漂着ごみ調査、啓発動画の作成など、プラスチックごみゼロに向けた取り組みを進めています。また、2024年4月からは、町域や企業などのみなさんと協力して、街・川・海にごみのないきれいな大阪をめざす「OSAKAごみゼロプロジェクト」に取り組んでいます。

**恩智川でのごみ調査の結果**

レジ袋や食品の包装包装、飲料用ボトルなど、わたしたちの生活から出ているごみが多くの割合を占めています。

**ごみの内訳 (回収ベース)**

プラスチック	約 7割
紙類	約 2割
その他	約 1割

**大阪府の取り組み**

「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」

海洋プラスチックごみ問題や日々の生活から出るプラスチックごみを減らす取り組みなど、クイズを交えて楽しく分かりやすく紹介しています。

**考えてみよう!**

わたしたちにも身近な大阪府にもプラスチックごみが減っていますが、その量は1年間でどれくらいでしょうか?

1. 牛乳パック	約10本分
2. お風呂	約2杯分
3. トラック	約1台分
4. 小学校の25mプール	約10杯分

海に流れ出したプラスチックごみは、そのあとどうなるでしょうか?

1. すぐにとけてなくなる	2. 何百年も残り続ける
---------------	--------------

このままだと、いつか大阪湾がプラスチックごみでいっぱいになってしまんやない!?

**「みんな考えよう! 環境・エネルギークイズ」**

きれいな海を守るためには、わたしたちの暮らしの中で、川や海に流出するごみを減らすことが大切です。プラスチックごみゼロに役立つ新しい技術について、クイズも交えて紹介しています。



# プラスチックごみ問題(p.5)

## ⑤プラスチックごみを減らす工夫「プラごみ“ほかさん”3か条」

### 留意点

- プラスチックごみを減らすために、身近にできることを伝え、自分たちにできることを考えるきっかけとする。

プラごみ“ほかさん”アクションbookでは、プラスチックごみ問題の現状や、日常生活での取り組みアイデアなどを分かりやすく紹介しています。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120050/shigenjuncan/actionbook/index.html>



### マイボトルスポットMAP

- マイボトルなどが利用できるお店を検索することができます。

<https://my-bottle.jp/>



店舗の種類や地図から簡単に探すことができます。



<マイボトルスポットMAP・3Rカードゲームに関する問合せ先>

循環型社会推進室 資源循環課 3R推進グループ

電話:06-6210-9567 E-mail:shigenjuncan-recycle@gbox.pref.osaka.lg.jp

### ⑤ プラスチックごみを減らす工夫「プラごみ“ほかさん”3か条」

プラスチックごみを減らすためには、ほかさん(捨てない)ようにすることが大切です。使い捨てプラスチック製品(レジ袋やストローなど)を使わないようにする。ごみの分別に取り組むなど、ふだんの生活で取り組めることはたくさんあります。できることから始め、プラスチックごみゼロをめざしましょう。

- 1 プラごみを減らせる商品やサービスを選ぼう！
  - マイバッグやマイボトルなどを持ち歩く
  - ストローやスプーンなどをもらわない
  - プラスチック包装でない商品やサービスを選ぶ
- 2 今持っているものを長く大切に使う！  
フリーマーケットやリユースショップを利用する
- 3 リサイクルにつながる取り組みをしよう！  
ごみ出しの分別ルールを守る

#### おおさかプラスチックごみ3Rカードゲーム

生活の中でプラスチックごみが出る場面において、3Rの取り組みアイデアを考えながら、楽しく学ぶことができるカードゲームです。

3Rとは？  
① Reduce (ごみを減らす)  
② Reuse (くたびれず使う)  
③ Recycle (資源として再利用する)

カードゲームのデータや貸出しについてはこちら▶▶

#### マイボトルスポットMAP

外先でもマイボトルなどが利用できる近くのお店を検索できるよ！「マイボトルスポットMAP」を掲載しています。

海洋プラスチックごみ問題を解決したい。どうなる？プラスチックごみを減らすためにどんなことができるだろう？

詳しくはこちら▶▶

無料貸出しはこちら▶▶

5

### おおさかプラスチックごみ3Rカードゲーム

- 生活の中でプラスチックごみが出る場面において、3Rの取り組みアイデアを考えながら、楽しく学ぶことができます。

[https://www.pref.osaka.lg.jp/o120050/shigenjuncan/plastic3r\\_cardgame/index.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o120050/shigenjuncan/plastic3r_cardgame/index.html)

ホームページからダウンロードできます。カードゲームの貸出しも行っていきます。



# プラスチックごみ問題(p.5)

## <補足資料>



©2014 大阪府もずやん

対策をしないとどうなるの？  
プラスチックごみを減らすために  
どんなことができるだろう？

くわしくはこちら



### 世界の国や地域と協力して解決をめざす海洋プラスチックごみ問題

プラスチックなどの海洋ごみは、海に漂う有害物質の移動経路を及ぼし、海洋生物に悪影響を及ぼすおそれがある。国際的な取り組みがすすんでおり、2019年に開催されたG20サミットでは、海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることをめざす大阪ブルー・オーシャン・ビジョンが共有され、世界の国や地域において、海洋プラスチックごみに対する取り組みが広がっています。

### なぜ世界の国や地域と協力するの？ 対策をしないとどうなるの？

世界では、1年におよそ600万トン(約10年分のプラスチックごみの海へ入れ込んでいるといわれています)。プラスチックは、自然分解されず残ります。海に漂うプラスチックごみが、このまま増加すると、2050年には、海に漂うプラスチックごみの量が、世界中の海で獲れる魚を上回るかと予測されています。

2024年	2050年
10~11歳	36~37歳

海の生き物への影響～アオウミガメの例～

2023年11月に高知県の高知湾で、1歳の子ガメが、誤ってプラスチックごみを食べてしまいました。このプラスチックごみは、胃から20日たってもまだ出てきませんでした。そのほか、レジ袋や食品の包装紙などのプラスチックごみが誤食され、1~2日おきに合計16回で21gのプラスチックごみを排出しました。胃腸が正常に戻らない状態に陥ることがあります。

プラスチックごみは、海の中を漂うだけでなく、海に沈んだプラスチックごみが海底で腐敗し、有害な物質を放出するおそれがあります。

### マイクロプラスチックを減やさないためにできること

プラスチックは、大腸の腸や鼻粘膜などの働きで濾れてくれています。大きさが5mmより小さくなったプラスチックをマイクロプラスチックといういます。マイクロプラスチックは、とても小さなので、海や川で流れる水がすすいでくると、海や川に漂いやすくなります。目に見えないほど小さくはなると、プラスチックは、なかなか自然分解されず、海の中を次々に残り続けます。そのため、マイクロプラスチックになる前にプラスチックごみを削減することや、プラスチックごみを減らすことができることです。

### 身の回りよく観察しよう

場所	対策
家庭	洗剤の容器や歯磨き粉の容器を減らす
学校	給食の容器や紙コップを減らす
公園	ゴミ箱にゴミを分別して捨てる
海	ゴミ箱にゴミを分別して捨てる

プラスチックごみを減らすためにできること

- プラスチックごみを減らす
- プラスチックごみを分別して捨てる
- プラスチックごみを減らす
- プラスチックごみを減らす

プラスチックごみを減らすためにできること

プラスチックごみを減らすためにできること

プラスチックごみを減らすためにできること

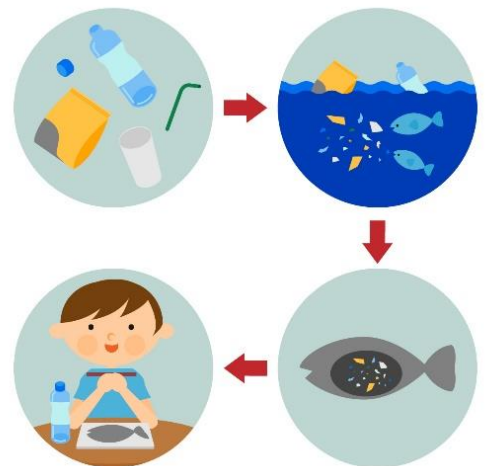
## マイクロプラスチックについて

- 東京湾で捕ったカタクチイワシの消化管を調査した結果では、64尾中49尾から計150個のマイクロプラスチックが検出されています。検出されたマイクロプラスチックの約8割が0.1~1ミリの大きさでした。

(東京農工大学 農学部環境資源科学科 高田秀重教授による調査研究結果)

- マイクロプラスチックは、PCB、ダイオキシン、DDTなど、残留性有機物汚染物質(POPs)と呼ばれる海中の有害化学物質を取り込みやすいことが分かってきています。マイクロプラスチックを摂取したプランクトンを小魚が食べ、より大きな魚が小魚を食べ・・・という食物連鎖を通じて、有害化学物質が生き物の体内に蓄積する可能性が懸念されています。

(千葉商科大学「MIRAI Times(2023. 3. 22コラム) )



# ペットボトルの旅(p.6-7)



## 留意点

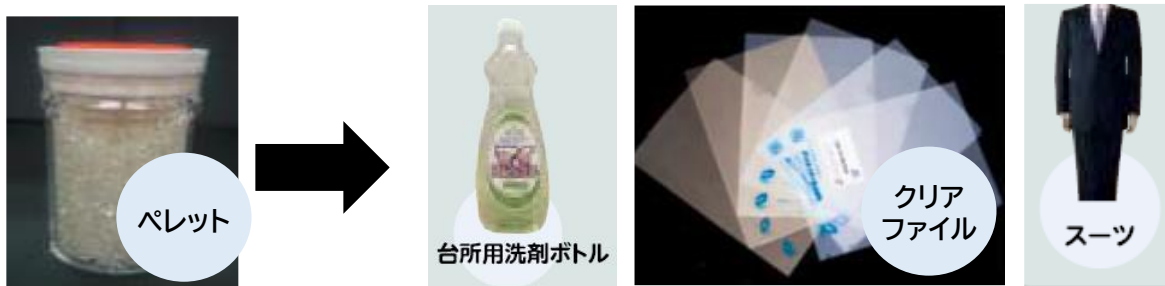
### ◆(体験学習)ペットボトルの旅

- ・ ペットボトルのリサイクルについて、ペットボトルの気持ちになって、自分が行きたい矢印の方向、あるいは行きたくない矢印の方向を指で進めていき、どのようなゴールに到着するかを学ぶ(サイコロがあれば、すぐろくとして遊びながら学ぶことも可能)。
- ・ ペットボトルは、地域のルールに従って分別され資源ごみとして回収されると、リサイクルされて再びペットボトル(ゴール1)になったり、衣類等のリサイクル品(ゴール2)になったりする。
- ・ また、分別せずに捨てられた場合でも、焼却されて熱エネルギー(ゴール3)になる。
- ・ 一方、ポイ捨てされたり、きちんと分別して捨てられた場合でもごみ箱やごみ集積場所がいっぱいで山積みになっていたりと、風に飛ばされ転がり、川から海に運ばれて海ごみになってしまう。
- ・ 地域のルールを調べて、資源ごみとして分別して捨てることで、ペットボトルやリサイクル品として生まれ変われることを伝える。(分別やリサイクル品の詳細はP4にも掲載)
- ・ また、ポイ捨てされたごみを見つけたら拾ってきちんとごみ箱に捨てることで、リサイクルや焼却など適正に処理されることを伝える。
- ・ (参考)日本のペットボトルリサイクル率は世界的にかなり高く、それは皆さんがきちんと資源ごみとして分別して排出していることも関係していることを伝える。

# プラスチックの旅(p.6-7)【続き】

## ◆プラスチックのリサイクルについて

- 回収されたペットボトルは、選別や破碎、洗浄を行うことでペレット状の原料とし、再度、ペットボトルとして、また、クリアファイルや衣類等として再利用される。

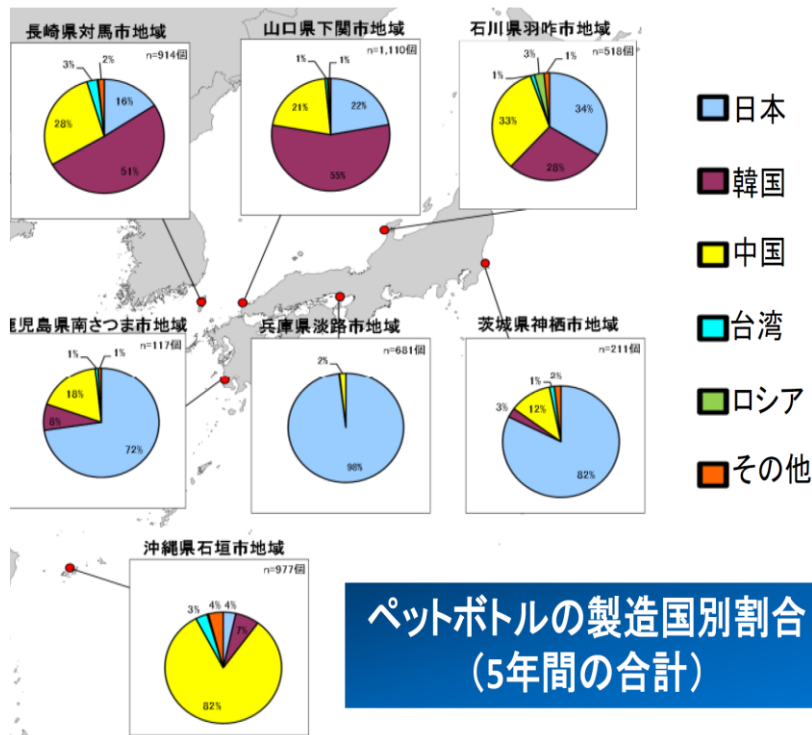


## ◆大阪湾のプラスチックごみの現状

- 大阪湾の漂流・漂着ごみの約8割がプラスチック類で、そのほとんどが日本製。

(参考)H22-26 環境省による漂着したペットボトルの製造国別割合

- ・大阪湾: 98%が日本製
- ・沖縄県: 約8割が中国製で日本製は3%
- ・長崎県、山口県: 約5割が韓国製で日本製は数%



- 海洋プラスチックごみの大半(約8割程度と推計)は、河川を流れて到着した陸域由来のごみと言われている。
- 関西広域連合の調査結果では、大阪湾の海底にレジ袋300万枚、ビニル片610万枚が沈んでいると推計されている。

# 表紙・裏表紙について

## 第45回全国豊かな海づくり大会

### 「魚庭(なにわ)の海おおさか大会」

- 全国豊かな海づくり大会は、水産資源の保護管理や環境保全の大切さを広く国民に訴えけるとともに、「つくり育てる漁業の推進」を通じて漁業振興と発展を図ることを目的として、昭和56年から全国各地で開催されている国民的行事です。
- 令和8年11月14日(土曜日)及び15日(日曜日)に、大阪府で初めて開催します。  
    式典行事:南海浪切ホール(岸和田市) ※招待者のみ  
    海上歓迎・放流行事:府営りんくう公園シーサイドウォーク(泉佐野市) ※招待者のみ  
    関連行事:岸和田旧港地区緑地(通称アクアパーク)、りんくうアイスパーク(泉佐野市)
- 大阪大会の開催を機に、多くの方々が豊かな大阪湾を次世代に引き継ぐような取組みに参画し、健康・食育、SDGs等への取組みを促進することなどをめざしています。
- また、豊かな海づくりに向けた取組みは、海だけにとどまらず「森・里・街・川・海のつながり」が大切であることを、一人ひとりが考えるきっかけになると幸いです。



<参考ホームページ> 第45回全国豊かな海づくり大会「魚庭(なにわ)の海おおさか大会」

<https://yutakana-umidukuri-pref-osaka.jp/>

## 企業のお仕事とSDGs

- 現在、企業では、環境に配慮した製品づくり・サービス提供をしたり、地域の環境を守る活動に積極的に参加するなど、様々なことに取り組まれています。
- 環境に関する取り組みの実例を知る参考として、職業教育の参考として、冊子作成に協力をいただいている企業の取り組みを大阪府のホームページで紹介しています。

<参考ホームページ> 企業のお仕事とSDGs (大阪府)

[https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/education/kigyo\\_sdgs.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/education/kigyo_sdgs.html)



## 【実例紹介】

### <株式会社OSGコーポレーションの取り組み> 「ステハジ」プロジェクト

“使い捨ては恥ずかしい”という考え方を通して誰でも、毎日、どこでも、少しの意識と行動で海洋プラスチックごみ問題などの使い捨てから生まれる、その他様々な社会課題を個人・企業・自治体・団体・教育機関が一体となって啓発・実践し、行動変容に取り組むプロジェクトです。さあ、みんなでサステナブルはじめよう！



さあ、みんなでサステナブルはじめよう！



ステハジHP

### 「ステハジ」主催のプロジェクト

ペットボトルを削減した量を競う「マイチャレ」イベントや、「日本とアジアをつなぐビーチクリーン」などみなさんと一緒になって行動変容に取り組んでいます。



### <BRITA Japan株式会社の取り組み>



子どもたちの未来につながる水を、多くの皆さんにとどけるために、ブリタジャパンでは様々な環境保全活動を行っています。

ブルーオーシャンビジョン実現のために  
大阪府・大阪市との事業連携協定締結

森を育て“水”を守り、環境保全について考える  
富士山麓での育林活動

海洋プラスチックごみの削減をはじめとする環境関連分野におけるパートナーシップを構築し、相互に密接な連携を図ることにより、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けた取り組み等を推進し、豊かな環境の保全と創造を進めていきます。

山を守り、森を育てることは、水を守り生活を守ること。  
2007年に開始した富士山麓での植樹、育林活動は、NPO法人、ブリタジャパン社員、ユーザー(ブリタクラブ会員)三者でのプロジェクトとして定着しています。



大阪府・市との事業連携協定の  
詳細は、こちらをご覧ください ▶▶



ブリタのさまざまなサステナビリティへの  
取り組みは、こちらをご覧ください ▶▶





小学生向けプチプチ®のリサイクルについて学べるホームページ ▶▶  
<https://www.putiputi.co.jp/putiputi-recycle>



## 【参考情報】

### 出前講座等の環境教育の教材・支援プログラム

- 大阪府では、様々な企業や団体等の事業者の協力のもと、出前講座や施設見学等の環境教育の教材・指導プログラムを紹介しています。
- 令和8年度も内容を拡充し、さらに幅広い分野の環境教育プログラムを紹介していますので、ぜひご活用をください。

<参考ホームページ> 令和8年度 環境教育の教材・支援プログラム(大阪府)  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/kankyo-top/kankyo.html>



# 「プチプチ®でリサイクル」

～気泡緩衝材「プチプチ®」でリサイクルを学ぼう！～

講師：川上産業株式会社 リサイクル事業部

対象学年	小学校3/4/5年生 ※他学年希望の場合はご相談下さい
対象人数	30人程度 (1クラス単位) / 学年単位でも対応可
所要時間	45～60分 (授業1コマ分)
会場	教室 / 体育館

準備していただきたいもの モニターまたはプロジェクター / 接続ケーブル

## 内容

- **【30分】 スライドを使った講義 (座学)**  
「会社紹介/プチプチ®の紹介/防災活用/ラッキープチ紹介/SDGs/地球温暖化/ ループリサイクル/リサイクルのメリット/プチプチ®の分別」 上記の内容を座学で行い、プチプチ®を通して環境問題について中心的に学んでいただきます。プチプチ®はリサイクルできること、リサイクルする上で分別が大切 だとお伝えします。防災活用の内容は、プチプチ®ポンチョや水貼りを利用して実演します。
- **【10分】 レクリエーション (プチプチ®に触れる)**  
通常のプチプチ®をお配りし、つぶしてもらいます。その後にプチチンスカットをお配りしてプチチンスカットの音の大きさを体験してもらいます。プチプチ®をつぶすことで、リサイクルする上で大切な減容を体験していただきます。
- **【5分】 まとめ・質疑応答**  
講義後にプチプチ®リサイクルボックスを置かせていただくことで、授業後も継続的にリサイクルに取り組んでいただけます。

1コマ(45分) 小学4年生を対象と仮定したときの内容です。内容は変更可能ですので、ご相談ください。

## 学校様へのお願い

ご家庭で出る使用済みのプチプチ®を集めて回収する「プチプチ®リサイクルボックス」の設置を積極的に行っています。ご協力お願いいたします。プチプチ®回収に関しては、随時ご説明させていただきます。

## 申し込みに関して

下記のメールアドレスに開催希望時期の**2カ月以上前**にご連絡お願いいたします。その他ご不明点もお気軽にお問合せください。✉ [recycle\\_info@putiputi.co.jp](mailto:recycle_info@putiputi.co.jp)



## <環境教育情報紙「エコチル」>

- 大阪府と株式会社アドバコムは、次世代を担う子どもたちが地球環境問題について理解を深め、主体的に行動できるよう促すことを目的とした連携協定を締結し、協定に基づく取り組みとして、令和6年4月から各小学校1～6年生に環境教育情報紙「エコチル」を配付しています。
- 毎号さまざまなテーマで、環境ついでたのしく学べる特集がありますので、本冊子とともにご活用ください。  
<https://www.ecochil.net/backnumber/?informationarea=osaka>



## <環境学習ツール>

- 地球温暖化に関する理解を深め、一人ひとりができることを考え、行動できるようにすることを目的とし、学習シートなどの環境学習ツールを作成し、大阪府ホームページに掲載しています。併せてご活用ください。  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/education/index.html#tool>

①学習シート(省エネの工)

②学習シート(省エネの取り組み)

③行動一覧とカード

行動一覧(表形式)

行動一覧(カード形式)

④行動記録シート

⑤地球を守る行動宣言書

タブレット端末等の場合は画像データを貼り付ける

好きな項目を選び貼り付け

紙で利用する場合は、紙印刷用を切り取り貼り付ける

## <エコスタディ～おおさか環境学習のひろば～>

- 大阪府ホームページでは、環境学習に関する様々な情報を紹介しています。  
[https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/ecoala\\_top/kankyogakusyu.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/ecoala_top/kankyogakusyu.html)



## <貸し出しツールについて>

- 大阪府地球温暖化防止活動推進センター  
(一般社団法人大阪府みどり公社)では、環境学習のより一層の推進を図るため、センターで所有する環境学習教材の貸し出しを行っています。
- パネルやDVDはもちろん、実験キットを使って体験しながら学習していただける教材など幅広く取り揃えています。直接センターでの受け渡し、または宅配便等による貸し出しをしています。(※送料は利用負担となります)



<センター所在地> 〒541-0054 大阪市中央区南本町2丁目1番8(創建本町ビル5階)  
<http://osaka-midori.jp/ondanka-c/suishini/kasidasi/>

## <環境省 環境教育に役立つ情報サイト<sup>14</sup> 環境学習STATION>



みんなで**変える**地球の**未来**

～脱炭素社会をつくるために～



- 脱炭素社会の実現に向けた新環境教育教材等が紹介されています。小学校低学年から高学年まで、学年に合わせた授業展開例や動画が掲載されています。

<https://policies.env.go.jp/policy/eco/>

## <環境教育等に関する取り組み・イベントについて>

### 環境に関することわざコンクール

- 環境に関するテーマに合う「エコなことわざ」を募集し、表彰しています。(主催 エコ・ファースト推進協議会)
- 令和6年度は、6月21日から9月6日まで募集しました。令和7年度については、詳細が決定次第、公表予定です。

<https://www.ecotowaza.jp/>



## <引用元について>

- この「指導の手引き」は、大阪市環境副読本「おおさか環境科(小学校・義務教育学校5・6年生)の「指導の手引き」から一部転載し、大阪府において編集しました。なお、全文は大阪市環境情報サイト「なにわエコスタイル」からご覧いただけます。

<http://naniwa-ecostyle.net/>

- 経済産業省資源エネルギー庁の副教材(エネルギー教育)「かがやけ! みんなのエネルギー」「わたしたちのくらしとエネルギー」の解説編[教師用]からも一部引用しています。

<https://www.enecho.meti.go.jp/category/others/tyousakouhou/>